

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-048260

(43)Date of publication of application : 18.02.2000

(51)Int.Cl.

G07G 1/12

(21)Application number : 10-213920

(71)Applicant : TOSHIBA TEC CORP

(22)Date of filing : 29.07.1998

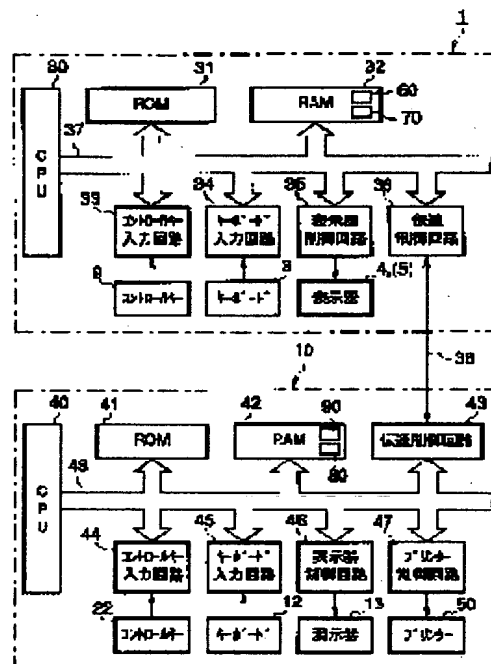
(72)Inventor : KUBOTA MOTOSUKE

## (54) TWO PEOPLE GOODS SALES REGISTRATION SYSTEM

## (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a two people sales registration system which makes it possible to easily perform registration cancellation of registered goods or additional registration of additional goods at an adjustment terminal.

**SOLUTION:** A goods code corresponding to position information from a position information table 70 is read out by inputting the position information on a goods key to which the goods code provided on a key board 3 of a registration terminal 1 is allocated from a key board 12 of an adjustment terminal 10. It is made possible to easily perform cancellation of registration or sales registration of new goods from the key board 12 of the adjustment terminal 10 by deleting the goods code stored in an adjustment data file 80 even when the goods code to which this goods is allocated is provided on the registration terminal 1 but not on the adjustment terminal 1.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-48260

(P2000-48260A)

(43) 公開日 平成12年2月18日 (2000.2.18)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>

G 0 7 G 1/12

識別記号

3 2 1

F I

G 0 7 G 1/12

ターミナル (参考)

3 2 1 K 3 E 0 4 2

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 11 頁)

(21) 出願番号 特願平10-213920

(22) 出願日 平成10年7月29日 (1998.7.29)

(71) 出願人 000003562

東芝テック株式会社

東京都千代田区神田錦町1丁目1番地

(72) 発明者 久保田 基資

静岡県田方郡大仁町大仁570番地 株式会

社テック大仁事業所内

(74) 代理人 100058479

弁理士 鈴江 武彦 (外6名)

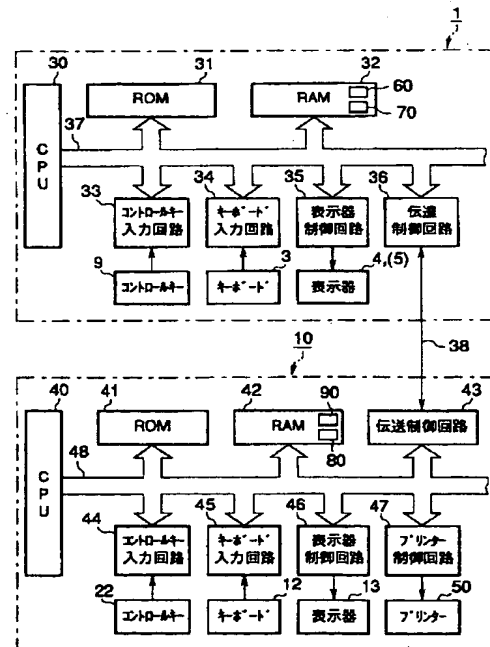
Fターム (参考) 3E042 BA09 CA01 CA07 CB01 CB09

(54) 【発明の名称】 二人制商品販売登録システム

(57) 【要約】

【課題】 この発明は、精算用ターミナルで既登録商品の登録取消あるいは追加商品の追加登録を容易にできるようにした二人制販売登録システムを提供することにある。

【解決手段】 登録用ターミナル1のキーボード3に設けられた商品コードが割り付けられた商品キーの位置情報を精算用ターミナル10のキーボード12から入力することにより、位置情報テーブル70から前記位置情報に対応する商品コードを読み出し、精算データファイル80に格納されている前記商品コードを削除することにより、この商品が割り当てられた商品キーが登録用ターミナル1には設けられているが、精算用ターミナル10に設けられていない場合においても、精算用ターミナル10のキーボード12から容易に登録の取消あるいは新たな商品の販売登録ができるようにした二人制商品販売登録システム。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 それぞれの商品の商品コードが割り付けられ販売商品の登録をする複数の商品キー、販売点数等の数値データを入力する置数キー、合計キー等の販売商品の登録用キーが設けられたキーボードから各販売商品の販売データを登録する登録用ターミナルと、この登録用ターミナルと伝送路によって接続され、それぞれの商品の商品コードが割り付けられ販売商品の登録をする複数の商品キー、販売点数等の数値データを入力する置数

キー、締めキー等精算用キーが設けられたキーボードおよび前記登録用ターミナルから伝送された商品コードを含む販売データを格納する精算データファイルが設けられた精算用ターミナルとからなる二人制商品販売登録システムにおいて、  
前記登録用ターミナルのキーボードに配列された商品キーの配列位置を特定する位置情報とこの位置情報に対応してこの商品キーに割り付けられた商品コードが格納された位置情報テーブルを設けるとともに、前記精算用ターミナルのキーボードに前記登録用ターミナルのそれぞれの商品キーの位置情報を入力する位置情報入力手段、この位置情報入力手段から入力された位置情報を確定する確定手段および取消情報を入力する取消情報入力手段を設け、前記位置情報入力手段から入力された商品キーの位置情報が確定手段によって確定されたとき、前記位置情報テーブルから前記確定された位置情報に対応する商品コードを読み出すとともに取消情報が入力されているときは、前記精算用データファイルに格納されている前記商品コードを削除することにより、前記登録用ターミナルで登録された商品の登録を精算用ターミナルで取り消すことを特徴とする二人制商品販売登録システム。

【請求項2】 それぞれの商品の商品コードが割り付けられ販売商品の登録をする複数の商品キー、販売点数等の数値データを入力する置数キー、合計キー等の販売商品の登録用キーが設けられたキーボードから各販売商品の販売データを登録する登録用ターミナルと、この登録用ターミナルと伝送路によって接続され、それぞれの商品の商品コードが割り付けられ販売商品の登録をする複数の商品キー、販売点数等の数値データを入力する置数キー、締めキー等精算用キーが設けられたキーボードおよび前記登録用ターミナルから伝送された商品コードを含む販売データを格納する精算データファイルが設けられた精算用ターミナルとからなる二人制商品販売登録システムにおいて、

前記登録用ターミナルのキーボードに配列された商品キーの配列位置を特定する位置情報とこの位置情報に対応してこの商品キーに割り付けられた商品コードが格納された位置情報テーブルを設けるとともに、前記精算用ターミナルのキーボードに前記登録用ターミナルのそれぞれの商品キーの位置情報を入力する位置情報入力手段、この位置情報入力手段から入力された位置情報を確定す

る確定手段および登録情報を入力する登録情報入力手段を設け、前記位置情報入力手段から入力された商品キーの位置情報が確定手段によって確定されたとき、前記位置情報テーブルから前記確定された位置情報に対応する商品コードを読み出すとともに登録情報が入力されているときは、前記精算用データファイルに前記商品コードを格納することにより、前記登録用ターミナルで登録されなかった商品の登録を精算用ターミナルであることを特徴とする二人制商品販売登録システム。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、登録用ターミナルで各販売商品データを登録し、精算用ターミナルで金銭の支払つまり精算を行う商品販売登録システムに関する。

## 【0002】

【従来の技術】従来、大型つまり大規模の店舗等においては、精算所（会計所）における客の流れを円滑にするために、チェッカーとキャッシャーの二人の係員によって登録業務と精算業務を行う二人制チェックアウトシステム（以下単に二人制システムという）と呼ばれる商品販売登録システムが採用されている場合がある。

【0003】このような二人制システムは、例えば、専ら各販売商品の部門コードあるいは商品コード（以下両者を総称して商品コードという）、販売金額、販売点数等の販売データをキー入力して登録する登録用ターミナルと、この登録用ターミナルで登録された各販売商品の合計金額に対する金銭の授受をして会計をする精算業務を行う精算用ターミナルとから構成されている。

【0004】そして、前記登録用ターミナルと精算用ターミナルとの配置は、客の流れに対して上流側に登録用ターミナルを、また、下流側に精算用ターミナルを配置するようになっている。

【0005】なお、この種の二人制システムでは、買物客が混雑していない場合は一人の係員つまりキャッシャーのみによって前記精算用ターミナルを操作して登録業務と精算業務を行う一人制としても使用されるものである。

【0006】そして、この二人制システムにおいては、客は買上げる商品を買物籠等に入れ前記登録用ターミナルの場所にもって行くと、この登録用ターミナルを操作している係員つまりチェッカーが前記登録用ターミナルのキーボードに設けられているそれぞれの商品の商品コードが割り付けられ、販売商品の登録つまり売り上げ登録をする複数の商品キー、販売点数等の数値データを入力する置数キー、合計キー等の販売商品の登録用キーを操作して前記買上げる商品の販売データを登録する。

【0007】ついで、前記登録が済んだ客がつぎに精算用ターミナルの場所に移動すると、この精算用ターミナルを操作するキャッシャーは、この精算用ターミナルの

10

20

30

40

50

キーボードに設けられている、預り／現計キーつまり締めキー等の精算用キーを操作し、預り金額の入力をする  
とともに釣り銭がある場合はこの釣り銭を渡して精算が  
されるものである。

【0008】そして、上記したようにこの精算用ターミナルは、一人制としても使用されるものであることから、この精算用ターミナルに設けられたキーボードにも、販売商品の登録をするための商品コードが割り付けられた複数の商品キー、販売点数等の数値データを入力する置数キーが設けられている。

【0009】しかし、二人制システムにおけるこの精算用ターミナルは、商品の登録は専ら登録用ターミナルで行わせるようにしていると同時に精算用ターミナルは精算用に必要なキーを設けていることなどから、商品キーの数は登録用ターミナルよりも少ない。つまり、登録用ターミナルのキーボードに設けられている商品キーのうちのある商品が割り付けられている商品キーは、精算用ターミナルのキーボードには設けられていない。

【0010】一方、客は登録用ターミナルで登録を済ませ、精算用ターミナルで精算をする段階になって、そのうちのある商品の購入をキャンセルしたい旨を申し出る場合、あるいはある商品を新たに追加購入したい旨申し出る場合がある。

【0011】このように精算の段階になってキャンセルあるいは追加購入の申し出が、精算場所でキャッシャーに対して出されたときは、キャンセルあるいは追加購入の商品を精算用ターミナルのキーボードに設けられている商品キーから入力して登録の取消あるいは新たに登録をした後精算をするものである。

【0012】しかし、前記キャンセルあるいは追加購入する商品の商品コードが割り付けられた商品キーが、登録用ターミナルのキーボードにはあるが精算用ターミナルのキーボードにない場合は、この商品の商品コードを精算用ターミナルのキーボードの置数キーから入力するか、あるいは一旦一人制モード（この一人制モードとした場合は前記登録用ターミナルのキーボードを精算用ターミナルのキーボードとして使用できるようになっている）とした後、登録用ターミナルのキーボードから入力して、登録の取消または新たな登録をするようにしなければならない。

【0013】しかし、前者つまり精算用ターミナルの置数キーにより商品コードを入力する方法では、複数桁からなる商品コードを入力しなければならないとともに、この商品コードを覚えている必要があり、覚えていない場合はコード表によりその都度確認しなければならないため精算業務の能率の低下を招くとともに、キャッシャーに負担がかかるという問題がある。

【0014】また、後者つまり一人制モードとして登録の取り消し等を行うことは、一旦二人制モードを中断しなければならないことから登録業務を中断を余儀なくさ

れることから登録効率の低下を招くという問題がある。

【0015】

【発明が解決しようとする課題】上記のように従来の二人制システムにおいては、登録用ターミナルのキーボードには設けられているが、精算用ターミナルのキーボードには設けられていない商品キーの商品が、一旦登録用ターミナルで登録された後、精算の段階でキャンセルの申し出がされたとき、あるいは精算の段階で新たな商品の追加購入の申し出がされたときは、キャッシャーは精算用ターミナルから商品コードを入力するか、あるいは一旦二人制モードを一人制モードに切り替えて登録用ターミナルのキーボードによって登録の取消あるいは新たな登録をしなければならない、したがって、前者つまり商品コードを入力する方法では、キャッシャーの精算業務の能率の低下を招くとともに負担がかかるという問題があり、また、後者の一人制モードに切り替える方法では登録用ターミナルの登録業務を中断しなければならないことから登録効率の低下を招くという問題がある。

【0016】また、精算用ターミナルのキーボードに登録用ターミナルのキーボードと同じ商品キーを設けるようにすることも考えられるが、このようにした場合、精算用ターミナルのキーボードを大きくしなければならないことから精算用ターミナルが大型化してしまう等の問題がある。

【0017】

【課題を解決するための手段】この発明は上記事情に鑑みてなされたもので、請求項1記載の発明は、それぞれの商品の商品コードが割り付けられ販売商品の登録をする複数の商品キー、販売点数等の数値データを入力する置数キー、合計キー等の販売商品の登録用キーが設けられたキーボードから各販売商品の販売データを登録する登録用ターミナルと、この登録用ターミナルと伝送路によって接続され、それぞれの商品の商品コードが割り付けられ販売商品の登録をする複数の商品キー、販売点数等の数値データを入力する置数キー、締めキー等精算用キーが設けられたキーボードおよび前記登録用ターミナルから伝送された商品コードを含む販売データを格納する精算データファイルが設けられた精算用ターミナルとからなる二人制商品販売登録システムにおいて、前記登録用ターミナルのキーボードに配列された商品キーの配列位置を特定する位置情報とこの位置情報に対応してこの商品キーに割り付けられた商品コードが格納された位置情報テーブルを設けるとともに、前記精算用ターミナルのキーボードに前記登録用ターミナルのそれぞれの商品キーの位置情報を入力する位置情報入力手段、この位置情報入力手段から入力された位置情報を確定する確定手段および取消情報を入力する取消情報入力手段を設け、前記位置情報入力手段から入力された商品キーの位置情報が確定手段によって確定されたとき、前記位置情報テーブルから前記確定された位置情報に対応する商品

コードを読み出すとともに取消情報が入力されているときは、前記精算用データファイルに格納されている前記商品コードを削除することにより、前記登録用ターミナルで登録された商品の登録を精算用ターミナルで取り消す二人制商品販売登録システムとしたものである。

【0018】このように請求項1記載の発明は、二人制商品販売登録システムにおいて、登録用ターミナルのキーボードに配列された商品キーの配列位置を特定する位置情報と、この位置情報に対応してこの商品キーに割り付けられた商品コードが格納された位置情報テーブルを設けるとともに、前記精算用ターミナルのキーボードに前記登録用ターミナルのそれぞれの商品キーの位置情報を入力する位置情報入力手段、この位置情報入力手段から入力された位置情報を確定する確定手段および取消情報を入力する取消情報入力手段を設け、前記位置情報入力手段から入力された商品キーの位置情報が確定手段によって確定されたとき、前記位置情報テーブルか前記確定された位置情報に対応する商品コードを読み出すとともに、取消情報が入力されているときは、前記精算用データファイルに格納されている前記商品コードを削除することにより、前記登録用ターミナルで登録された商品の登録を精算用ターミナルで取り消すようにしたことから、登録用ターミナルのキーボードの商品キーの位置情報を入力するとともに取り消し操作をすることにより容易に既登録商品の登録を取り消して精算できるという作用を有するものである。

【0019】また、請求項2記載の発明は、それぞれの商品の商品コードが割り付けられ販売商品の登録をする複数の商品キー、販売点数等の数値データを入力する置数キー、合計キー等の販売商品の登録用キーが設けられたキーボードから各販売商品の販売データを登録する登録用ターミナルと、この登録用ターミナルと伝送路によって接続され、それぞれの商品の商品コードが割り付けられ販売商品の登録をする複数の商品キー、販売点数等の数値データを入力する置数キー、締めキー等精算用キーが設けられたキーボードおよび前記登録用ターミナルから伝送された商品コードを含む販売データを格納する精算データファイルが設けられた精算用ターミナルとからなる二人制商品販売登録システムにおいて、前記登録用ターミナルのキーボードに配列された商品キーの配列位置を特定する位置情報とこの位置情報に対応してこの商品キーに割り付けられた商品コードが格納された位置情報テーブルを設けるとともに、前記精算用ターミナルのキーボードに前記登録用ターミナルのそれぞれの商品キーの位置情報を入力する位置情報入力手段、この位置情報入力手段から入力された位置情報を確定する確定手段および登録情報を入力する登録情報入力手段を設け、前記位置情報入力手段から入力された商品キーの位置情報が確定手段によって確定されたとき、前記位置情報テーブルか前記確定された位置情報に対応する商品コ

ードを読み出すとともに登録情報が入力されているときは、前記精算用データファイルに前記商品コードを格納することにより、前記登録用ターミナルで登録されなかった商品の登録を精算用ターミナルでする二人制商品販売登録システムとしたものである。

【0020】このように請求項2記載の発明は、登録用ターミナルのキーボードに配列された商品キーの配列位置を特定する位置情報と、この位置情報に対応してこの商品キーに割り付けられた商品コードが格納された位置情報テーブルを設けるとともに、前記精算用ターミナルのキーボードに前記登録用ターミナルのそれぞれの商品キーの位置情報を入力する位置情報入力手段、この位置情報入力手段から入力された位置情報を確定する確定手段および登録情報を入力する登録情報入力手段を設け、前記位置情報入力手段から入力された商品キーの位置情報が確定手段によって確定されたとき、前記位置情報テーブルか前記確定された位置情報に対応する商品コードを読み出すとともに、登録情報が入力されているときは、前記精算用データファイルに前記商品コードを格納することにより、前記登録用ターミナルで登録されなかった商品の登録を精算用ターミナルでするようにしたことから、登録用ターミナルのキーボードの商品キーの位置情報を入力するとともに登録操作をすることにより容易に新たな商品の登録をして精算できるという作用を有するものである。

【0021】

【発明の実施の形態】つぎに、この発明の実施の形態を図1ないし図13に基いて説明する。

【0022】図1は、二人制システムの登録用ターミナル1の外観を示す斜視図であり、この登録用ターミナル1は、図に示すように筐体2の前面にキーボード3および販売金額、商品コード等を表示するチェッカー用の表示器4が設けられており、また、筐体2の後方上部には客用の表示器5が設けられている。また、前記キーボード3には、各商品の販売点数等の数値データを入力する置数キー6、各商品の商品コードが割り付けられた複数の商品キー7、合計金額を算出する合計キー8等の各種登録用キーが配列されている。また、キーボード3に隣接した部位に電源のオン・オフ制御をするとともに、業務の種別を設定するコントロールキー9が設けられている。

【0023】また、図2は二人制システムの精算用ターミナル10の外観を示す斜視図であり、この精算用ターミナル10は、同図に示すように筐体11の前面にキーボード12および合計金額、預り金額、釣り銭等を表示するチェッカー用の表示器13が設けられており、また、筐体11には前記キーボード12の側方の部位にレシートを発行するレシート発行口14が設けられており、また、筐体11の下部には前方に向けて引き出し可能に現金を収納するドロワ15が設けられている。

【0024】また、前記キーボード12には、預り金額、追加販売をしたときに前記登録用ターミナル1のキーボード3の商品キーの配列位置を特定する位置情報（数字等）、販売点数等の数値データを入力する置数キー16、各商品の商品コードが割り付けられた複数の商品キー17、精算をするための預／現計キー（以下締めキーという）18、前記登録用ターミナル1で登録された商品の登録を取り消す取消情報を入力する取消情報入力手段としての取消キー20、前記登録用ターミナル1では登録されないで精算時に新たに追加購入された商品の登録を精算用ターミナル10で行う場合の登録情報を入力する登録情報入力手段としての登録キー21等の各種登録用キーが配列されている。

【0025】なお、前記締めキー18は、置数キー16によって入力された登録用ターミナル1の商品キー7の位置情報を確定する確定手段としても機能するものである。

【0026】また、キーボード12に隣接した部位には電源のオン・オフ制御を行うとともに登録（顧客の買上げる商品の販売データを累計処理するとともにレシートを印字発行する業務）、点検（登録業務によって累計された商品販売データをレポート出力する業務）、精算（登録によって記憶部に累計された商品販売データをレポート出力するとともに上記記憶部の内容をクリアする業務）の各業務を設定するコントロールキー22が設けられている。

【0027】つぎに、前記登録用ターミナル1と精算用ターミナル10の制御構成を図3に示す制御ブロック図に基いて説明する。

【0028】まず、登録用ターミナル1の制御構成は、同図に示すように、演算回路を内蔵するとともにキーボード3から入力されたデータに基づいて各種の演算処理を行うCPU（中央処理装置）30、各種制御プログラムを格納するROM（リード・オンリー・メモリー）31、キー入力された各商品の金額等の販売データを格納するRAM（ランダム・アクセス・メモリー）32、前記コントロールキー9からのキー信号を取り込むコントロールキー入力回路33、前記キーボード3からのキー信号を取り込むキーボード入力回路34、表示器4および表示器5に表示データを出力する表示器制御回路35、伝送路38を介して前記精算用ターミナル10の後述する伝送制御回路43に接続される伝送制御回路36等から構成されている。

【0029】そして、前記ROM31、RAM32、コントロールキー入力回路33、キーボード入力回路34、表示器制御回路35および伝送制御回路36はデータバス37を介してCPU30に接続されている。

【0030】また、精算用ターミナル10の制御構成は、同図に示すように演算回路を内蔵するとともにキーボード12から入力されたデータに基づいて各種の演算

処理を行うCPU（中央処理装置）40、各種制御プログラムを格納するROM（リード・オンリー・メモリー）41、キー入力された各商品の金額等の販売データを格納するRAM（ランダム・アクセス・メモリー）42、前記登録用ターミナル1に設けられた伝送回路36に伝送路38を介して接続される伝送制御回路43、前記コントロールキー22からのキー信号を取り込むコントロールキー入力回路44、前記キーボード12からのキー信号を取り込むキーボード入力回路45、表示器13に表示データを出力する表示器制御回路46、レシートに商品名、金額、合計額等を印字するプリンター50に印字データ出力するプリンター制御回路47等から構成されている。

【0031】そして、前記ROM41、RAM42、伝送制御回路43、コントロールキー入力回路44、キーボード入力回路45、表示器制御回路46およびプリンター制御回路47はデータバス48を介してCPU40に接続されている。

【0032】そして、前記登録用ターミナル1のRAM32には、図4に示すように、一客が買上げた各商品の商品コードを格納する商品コードエリア61、これらそれぞれ商品コードエリア61に対応した商品名を格納する品名エリア62、商品の販売点数を格納する数量エリア63、商品の金額を格納する金額エリア64、この顧客を特定するための登録番号を格納する登録番号エリア65からなる販売ファイル60が設けられている。

【0033】なお、この登録番号は、一客の買上げ商品の登録が終了し、合計キー8を押下したときに用紙に印字されて登録用ターミナル1の発行口（不図示）から発行されて前記客に渡され、精算時の間違いもなくすものである。

【0034】この販売ファイル60には、客が買上げる商品を順次チェッカーが登録用ターミナル1のキーボード3の商品キー7、置数キー6によって入力し、合計キー8を操作することによって、入力された各商品の商品コード、商品名、金額、販売点数が格納されるものである。またRAM32には図示しないが一客が買上げた商品の金額を累計するとともに累計額つまり合計額を格納する合計器が設けられている。

【0035】また、RAM32には図示しないが、それぞれの商品コードに対応して商品名、商品部門、金額等を格納したPLU（プライスルックアップ）メモリが設けられており、キーボード3の商品キー7が押下されるとこの商品キー7に割り付けられた商品コードを基に前記PLUメモリから、商品名、金額が読み出されて前記販売ファイル60に格納されるようになっている。

【0036】そして、一客の買上げた商品の登録が完了しチェッカーが、前記合計キーを押下すると前記販売ファイル60に格納された内容つまり登録番号、商品コード、商品名、販売点数、金額は前記合計器に格納された

合計額とともに精算用ターミナル10に送られ、精算用ターミナル10に設けられた後述される精算データファイル80に格納されるようになっている。

【0037】また、前記RAM32には、図5に示す位置情報テーブル70が設けられている。この位置情報テーブル70は同図に示すように、登録用ターミナル1のキーボード3に配列して設けられた前記商品キー7のそれぞれの配列位置を特定する位置情報を格納する位置情報エリア71、この位置情報エリア71に対応して設けられ、前記それぞれの商品キー7に割り当てられた商品コードを格納する商品コード絵エリア72から構成されている。

【0038】なお、前記各商品キー7の配列位置を特定する位置情報は、この実施の形態では図6に示すように、各商品キー7にそれぞれ「1」から順に付した数字つまり番号によって構成されている。また、この位置情報は番号ではなく「行」情報と「列」情報とによって構成するようにしてもよいものである。

【0039】つぎに、前記精算用ターミナル10に設けられたRAM42には、図7に示す精算データファイル80が設けられており、この精算データファイル80は同図に示すように、前記登録用ターミナル1のRAM32に設けられた販売ファイル60と同様に構成されている。

【0040】つまり、この精算データファイル80は図7に示すように一客が買上げた各商品の商品コードを格納する商品コードエリア81、これらそれぞれの商品コードエリア81に対応した商品名を格納する品名エリア82、買上げ点数を格納する数量エリア83、それぞれの商品の金額を格納する金額エリア84、この顧客を特定するための登録番号を格納する登録番号エリア85から構成されている。

【0041】また、RAM42には図8に示すように精算テーブル90が設けられており、この精算テーブル90は、同図に示すようにレシート番号を格納するレシート番号エリア91、精算用ターミナル10の自己の番号を格納するターミナル番号エリア92、販売商品データ（商品コード・商品名・数量（販売点数）・金額）を格納する商品データエリア93、買上げられたつまり販売した商品の合計額を格納する合計額エリア94、消費税額を格納する税額エリア95、前記合計額に消費税額を加算した支払額を格納する支払額エリア96等から構成されている。

【0042】そして、一客に対する精算はこの精算テーブルの内容に基いてなされるものである。

【0043】つまり、前記登録用ターミナル1で登録を済ませた客が、精算用ターミナル10で精算を済ませる場合、キャッシャーはこの客の前記登録番号をキーボード12に置数キー16から入力すると、この登録番号に基いてこの登録番号の精算データファイル80の内容が

読み出され、この内容に基いて合計額、消費税額、支払額等が算出され、これらはレシート番号等とともに前記精算テーブル90に格納され、そして、キャッシャーが客から預かった金額をキーボード12の置数キー16によって入力し締めキー18を押下すると釣り銭計算処理がされ、プリンター50によって商品コード、商品名、販売点数、合計額（小計として印字）、消費税額、支払額（合計額として印字）、釣り銭等が印字されたレシートが発行され精算業務は終了する。

【0044】なお、この際商品コード、商品名、販売点数、合計額（小計）、消費税額、支払額（合計額）、釣り銭等は締めキー18が押下されたとき表示器13に表示されるようになっている。

【0045】また、前記RAM42には、図示しないがキーボード12の取消キー20から入力された取消情報（取消す場合はフラグ「1」がセットされる）を格納する取消情報エリアと登録キー21から入力された登録情報（登録する場合はフラグ「1」がセットされる）を格納する登録情報エリアが設けられている。

【0046】また、前記RAM42には、図9に示すように前記登録用ターミナル1のキーボード3に配列された商品キー7の位置情報を格納する位置情報エリア101とこの位置情報エリア101に対応して設けられた商品コードを格納する商品コードエリア102とを有する位置情報バッファ100が設けられている。

【0047】この位置情報バッファ100の位置情報エリア101には、精算用ターミナル10のキーボード12の置数キー16から入力された、前記登録用ターミナル1のキーボード3の商品キー7の位置情報が格納され、また、商品コードエリア102には、前記位置情報が入力されたときこの位置情報に対応する商品コードが、前記登録用ターミナル1のRAM32に設けられた位置情報テーブル70から読み出された商品コードが格納されるものである。

【0048】そして、この位置情報バッファ100は、客が買上げるすべての商品を前記登録用ターミナル1で登録した後、精算用ターミナル10の場所にきて精算をしようとする段階で、買上げた商品のうちのある商品の購入をキャンセルしたいと申し出た場合、あるいは精算をしようとする段階で新たな商品を追加購入したいと申し出た場合で、かつ前記キャンセルあるいは追加購入の商品に対応する商品コードを割り付けた商品キーが、精算用ターミナル10のキーボード12になく、登録用ターミナルのキーボード3の商品キーにはある場合に機能するものである。

【0049】つまり、客が登録用ターミナル1で登録を済ませ、ついで精算用ターミナル10で精算をしようとする段階で、既に登録済みとなっているある商品の購入をキャンセルしたと申し出たときにおいて、この商品の商品コードが割り付けられた商品キーがキーボード12



にはない場合、キャッシュャーは、この商品が割り付けられている登録用ターミナル1の商品キーの位置情報つまり番号をキーボード12の置数キー16から入力する。この位置情報は前記位置情報バッファ100の位置情報エリア101に格納されるとともに、この位置情報に対応する商品コードが前記位置情報テーブル70から読み出されて、位置情報エリア102に格納される。

【0050】そして、この状態で取消情報が取消キー20から入力されていると、この商品コードおよびこの商品コードに対応して格納されている商品名、販売点数、金額を前記精算データファイル80から削除した後つまり登録を取り消した後、合計額、消費税額、支払額を算出し、これらを前記精算テーブル90に格納し、この精算テーブル90の内容に基いて精算がなされるものである。

【0051】また、これとは逆に精算の段階で新たな商品の追加購入の申し出がされた場合も、キャンセルの場合と同様に、キャッシュャーは、この商品が割り付けられている登録用ターミナル1の商品キー7の位置情報つまり番号をキーボード12の置数キー16から入力する。この位置情報は前記位置情報バッファ100の位置情報エリア101に格納されるとともに、この位置情報に対応する商品コードが前記位置情報テーブル70から読み出されて、位置情報エリア102に格納される。

【0052】そして、この状態で登録情報が登録キー21から入力されていると、この商品コードおよびこの商品コードに対応して格納されている商品名、金額を前記図示しないPLUメモリから読み出し、前記精算データファイル80に格納する。

【0053】また、この場合販売点数は、置数キー16からキャッシュャーによって入力され、この販売点数は精算データファイル80の数量エリア83に格納される。そして、この精算データファイル80の内容に基いて、合計額、消費税額、支払額が算出されこれらが精算テーブル90に格納されて、そして、この精算テーブル90の内容に基いて精算がなされる。

【0054】そして、前記キャンセルする商品の登録の取消、あるいは新たな商品の追加購入の登録をする際、キーボード12にこれらの商品の商品コードが割り付けられた商品キーがない場合も、登録用ターミナル1のキーボード3の配列されたこの商品の商品コードが割り付けられた商品キー7の位置情報を入力し、取消キー20または登録キー21を操作するという簡単な操作で、登録の取消あるいは追加の登録ができることから精算業務が効率よくなされるものである。

【0055】また、登録用ターミナル1は精算用ターミナル10の直ぐ後(上流側位置)に配置されているものであることから、キャッシュャーは前記商品キーの位置情報が分からなくなった場合は、後を振り向き登録ターミナル1のキーボード3の商品キー7の位置を目視するこ

とによって簡単に知ることができることから、これを正確に覚えている必要がなく精神的負担も軽減されるものである。

【0056】つぎに、上記のように構成された二人制システムの登録の取消および追加の登録をする場合の動作つまり流れを図10ないし図13のフローチャートに基いて説明する。

【0057】まず、客が買上げ既に登録用ターミナル1で登録済みとなっている商品のうちのある商品の登録を取消する場合を図10、図11のフローチャートに基いて説明する。

【0058】客が精算の段階で登録済みの商品のうちのある商品の購入をキャンセルする旨キャッシュャーに申し出ると、キャッシュャーは、図10のステップ1(以下の説明でステップ1、ステップ2…等をS1、S2…のように記載することとする)で取消キー20を押下して取消情報を入力すると、S2でこの取消情報を前記図示しない取消情報エリアに格納するつまりフラグ「1」をセットしてこの処理を終了する。

【0059】つぎに、キャッシュャーは図11に示すS1.1で、登録を取消する商品の商品キーの位置情報、つまり登録用ターミナル1のキーボード3の商品キー7のうちの前記取消する商品の商品コードが割り当てられている商品キーの位置情報(キーの番号)をキーボード12の置数キー16から入力し、ついで、S1.2に進み、このキー入力位置情報であることを確定するための位置情報確定手段である締めキー18を押下する。

【0060】つぎに、S1.3に進み、このS1.3では前記位置情報テーブル70から前記入力された位置情報に対応する商品コードを読み出して、この商品コードを位置情報バッファ100の前記位置情報が格納されている位置情報エリア101に対応する商品コードエリア102に格納する。

【0061】ついで、S1.4に進み前記取消情報エリアに取消情報が格納されているかどうか判断され、格納されていると判断されると、次にS1.5に進み、登録を取消する商品の「商品名」と「取消」を表示器13に表示する。

【0062】キャッシュャーは、この表示器の表示によって登録を取消する商品が正しいかどうかを確認しS1.6で締めキー18を押下する。この締めキー18が押下されるとS1.7に進み前記精算データファイル80に格納されている前記位置情報に対応する商品コードおよびこの商品コードに対応する商品名、販売点数、金額を削除つまり登録を取消してこの処理を終了する。

【0063】そして、前記登録が削除された精算データファイル80の内容に基いて精算処理がなされるものである。

【0064】つぎに、精算の段階で客が新たな商品の追加購入をしたい旨キャッシュャーに申し出た場合に、新た

10

20

30

40

50

に商品の登録をする場合の処理を図12および図13に基いて説明する。

【0065】客が精算の段階で新たな商品を追加購入をしたい旨キャッシャーに申し出ると、キャッシャーは、図12のステップ21で登録キー21を押下して登録情報を入力すると、S22でこの登録情報を前記図示しない登録情報エリアに格納するつまりフラグ「1」をセットしてこの処理は終了する。

【0066】つぎに、キャッシャーは図13に示すS31で、新たに登録をする商品の商品キーの位置情報つまり登録用ターミナル1のキーボード3の商品キー7のうちの前記新たな商品の商品コードが割り当てられている商品キーの位置情報(キーの番号)をキーボード12の置数キー16か入力する。この商品キーの位置情報が入力し、つぎで、S22に進み、このキー入力位置情報であることを確定するための位置情報確定手段である締めキー18を押下する。

【0067】つぎに、S33に進み、このS33では前記位置情報テーブル70から前記入力された位置情報に対応する商品コードを読み出して、この商品コードを位置情報バッファ100の前記位置情報が格納されている位置情報エリア101に対応する商品コードエリア102に格納する。

【0068】ついで、S34に進み、前記登録情報エリアに登録情報が格納されているかどうか判断され、格納されていると判断されると、次にS35に進み、登録をする商品の「商品名」と「登録」を表示器13に表示する。

【0069】キャッシャーは、この表示器の表示によって新たに登録をする商品が正しいかどうかを確認しS36で締めキー18を押下する。この締めキー18が押下されるとS37に進み、前記PLUメモリから新たな商品の商品コードおよび商品名、金額を呼び出し、これらを置数キー16から入力された新たに商品の販売点数とともに前記精算データファイル80に新たに格納つまり登録し、この処理を終了する。

【0070】そして、前記新たに登録された精算データファイル80の内容に基いて精算処理がなされるものである。

【0071】上記のように、精算をする段階になって購入した商品のうちのある商品をキャンセルする場合、あるいは新たな商品を追加購入した場合であって、登録用ターミナル1のキーボード3には、この商品の商品コードが割り付けられた商品キーはあるが、精算用ターミナル10のキーボード12にはこの商品の商品コードが割り付けられた商品キーがない場合であっても、キャッシャーは精算用ターミナル1のキーボード12から、登録用ターミナル1のキーボード3の商品キー7の位置情報を置数キー16から入力することにより容易に登録の取消あるいは新たな登録ができるものである。

【0072】なお、上記実施の形態においては、登録用ターミナル1に設けた商品キー7の位置情報を格納する位置情報テーブル70を登録用ターミナル1のRAM32に設ける構成としたが、これは精算用ターミナル10のRAM42に設ける構成としてもよいものである。

【0073】また、上記実施の形態においては、登録用ターミナル1のRAM32に販売ファイル60設け、また、精算用ターミナル10のRAM42に精算データファイル80を設ける構成としたが、これは格納するデータが共通していることからいずれか一方のRAMに設けて共用する構成としてもよいものである。

【0074】また、上記実施の形態においては、取消情報を格納する取消情報エリアと登録情報を格納する登録情報エリアとの二つのエリアを設ける構成としたが、これは一つとして、取消情報の場合フラグを「1」とし登録情報の場合フラグを「0」とするようにしてもよいものである。

【0075】また、上記実施の形態においては、位置情報バッファ100を設ける構成としたが、これは、置数キー16から位置情報を入力し、締めキー18を押下して位置情報を確定した際、直接位置情報テーブルからこの位置情報に対応する商品コードを読み出して、この商品コードを精算データファイル80から削除または追加するようにした場合は省略してもよいものである。

【0076】また、上記実施の形態においては、初めに取消情報あるいは登録情報を入力し、その後で商品キー7の位置情報を入力するようにしたが、これは位置情報を入力した後で入力するようにしてもよいものである。

【0077】また、登録用ターミナル1および精算用ターミナル10に設けた、各ファイルあるいはテーブルの具体的な構成は、必ずしも上記実施の形態の構成とすることを要するものではなく、二人制システムをする具体的な場面において定めればよいものである。

【0078】

【発明の効果】上記のように請求項1記載の発明は、二人制商品販売登録システムにおいて、登録用ターミナルのキーボードに配列された商品キーの配列位置を特定する位置情報とこの位置情報に対応してこの商品キーに割り付けられた商品コードが格納された位置情報テーブルを設けるとともに、前記精算用ターミナルのキーボードに前記登録用ターミナルのそれぞれの商品キーの位置情報を入力する位置情報入力手段、この位置情報入力手段から入力された位置情報を確定する確定手段および取消情報を入力する取消情報入力手段を設け、前記位置情報入力手段から入力された商品キーの位置情報が確定手段によって確定されたとき、前記位置情報テーブルか前記確定された位置情報に対応する商品コードを読み出すとともに、取消情報が入力されているときは、前記精算用データファイルに格納されている前記商品コードを削除することにより、前記登録用ターミナルで登録された商

品の登録を精算用ターミナルで取り消すようにしたこと  
から、登録用ターミナルのキーボードの商品キーの位置  
情報を入力するとともに取り消し操作をすることにより  
容易に既登録商品の登録を取り消して精算できるという  
効果を有するものである。

【0079】また、請求項2記載の発明は、登録用ター  
ミナルのキーボードに配列された商品キーの配列位置を  
特定する位置情報とこの位置情報に対応してこの商品キ  
ーに割り付けられた商品コードが格納された位置情報テ  
ーブルを設けるとともに、前記精算用ターミナルのキー  
ボードに前記登録用ターミナルのそれぞれの商品キーの  
位置情報を入力する位置情報入力手段、この位置情報入  
力手段から入力された位置情報を確定する確定手段およ  
び登録情報を入力する登録情報入力手段を設け、前記位  
置情報入力手段から入力された商品キーの位置情報が確  
定手段によって確定されたとき、前記位置情報テーブル  
から前記確定された位置情報に対応する商品コードを読み  
出すとともに、登録情報が入力されているときは、前記  
精算用データファイルに前記商品コードを格納すること  
により、前記登録用ターミナルで登録されなかった商品  
の登録を精算用ターミナルでするようにしたことから、  
登録用ターミナルのキーボードの商品キーの位置情報を  
入力するとともに登録操作をすることにより容易に新た  
な商品の登録をして精算できるという効果を有するもの  
である。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態の二人制商品販売登録シ  
ステムのうちの登録用ターミナルの外観を示す斜視図。

【図2】上記二人制商品販売登録システムのうちの精算  
用ターミナルの外観を示す斜視図。

【図3】上記登録用ターミナルおよび精算用ターミナル  
の制御ブロック図。

【図4】上記登録用ターミナルに設けた販売ファイルの  
構成を示す図。

【図5】上記登録用ターミナルに設けた位置情報テー  
ブルの構成を示す図。

【図6】上記登録用ターミナルのキーボードに設けた商

品キーの一部を示す図。

【図7】上記精算用ターミナルに設けた精算データファ  
イルの構成を示す図。

【図8】上記精算用ターミナルに設けた精算テーブルの  
構成を示す図。

【図9】上記精算用ターミナルに設けた位置情報バッ  
ファの構成を示す図。

【図10】上記二人制商品販売登録システムの既登録商  
品の登録を取り消す場合の取消情報を入力する処理のフロ  
ーチャート。

【図11】上記二人制商品販売登録システムの既登録商  
品の登録を取り消す場合の処理のフローチャート。

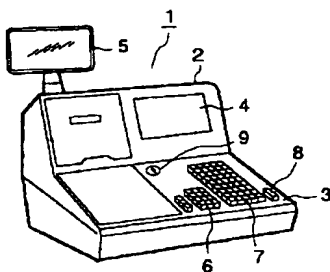
【図12】上記二人制商品販売登録システムの新たな購  
入商品の登録をする場合の登録情報を入力する処理のフロ  
ーチャート。

【図13】上記二人制商品販売登録システムの新たな購  
入商品の登録をする場合の処理のフローチャート。

#### 【符号の説明】

- 1 登録用ターミナル
- 3 登録用ターミナルのキーボード
- 6 登録用ターミナルに設けた置数キー
- 7 登録用ターミナルに設けた商品キー
- 8 登録用ターミナルに設けた締めキー（合  
計キー）
- 10 精算用ターミナル
- 12 精算用ターミナルのキーボード
- 15 精算用ターミナルに設けた置数キー（位  
置情報入力手段）
- 16 精算用ターミナルに設けた商品キー
- 18 精算用ターミナルに設けた締めキー（確  
定手段）
- 20 取消キー（取消情報入力手段）
- 21 登録キー（登録情報入力手段）
- 38 伝送路
- 70 位置情報テーブル
- 80 精算データファイル

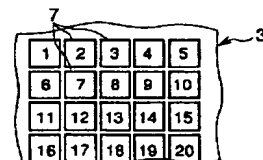
【図1】



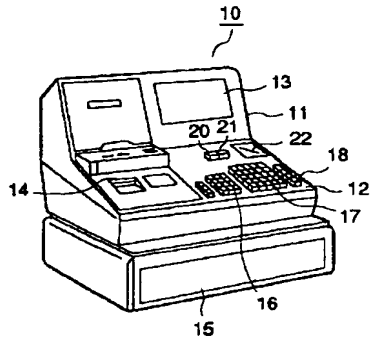
【図4】

登録番号	品名	数量	金額
61	商品コード	62	63
64			

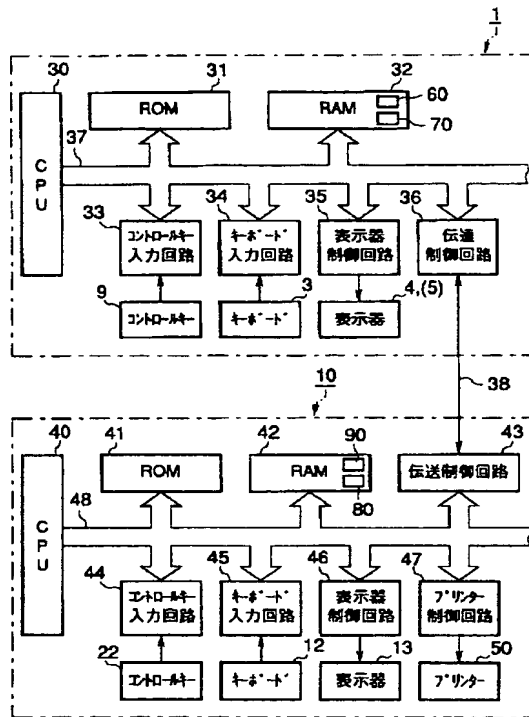
【図6】



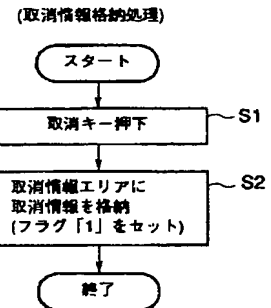
【図2】



【図3】



【図10】



【図5】

位置情報	商品コード	位置情報	商品コード
1	0001		
2	0002		
3	0003		
4	0004		

【図7】

登録番号	商品コード	商品名	数量	金額
81				
82				
83				
84				

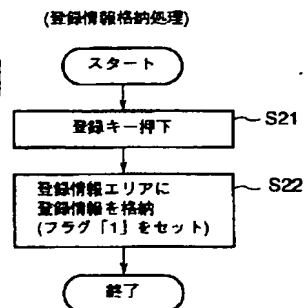
【図8】

レシート番号	ターミナル番号
91	92
商品販売データ(商品コード、商品名、数量、金額)	
合計額	税額
94	95
支払額	
96	

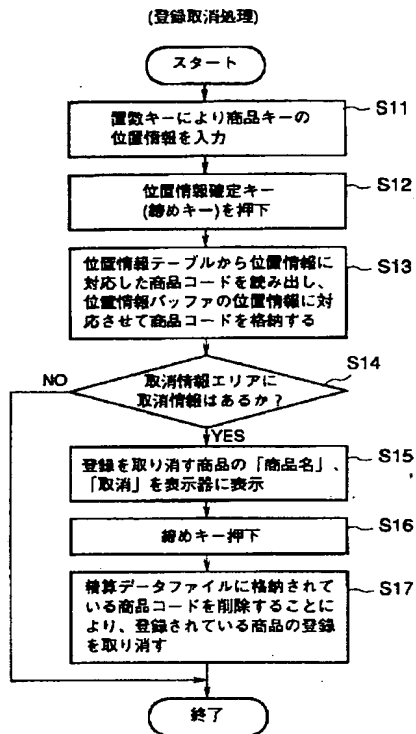
【図9】

位置情報	商品コード
101	102

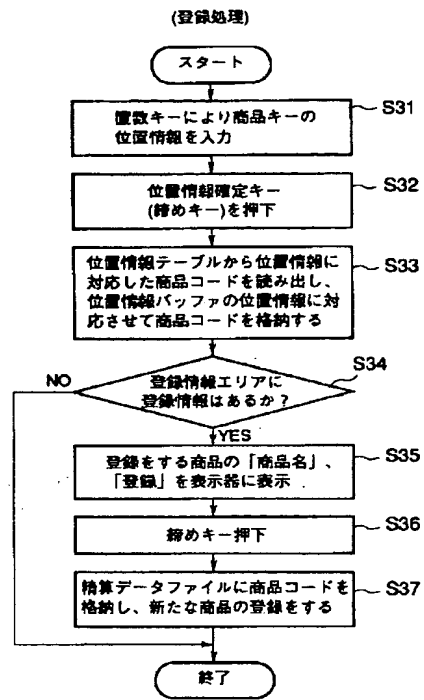
【図12】



【図11】



【図13】



**THIS PAGE BLANK (USPTO)**